

行財政改革有識者会議委員からいただいた主な意見

聴取内容：（仮称）新行財政改革推進プランの策定について（基本的な考え方）

項目	ご意見の概要	「行革プラン 2013」での位置付け及び対応状況
プラン策定の進め方について	<ul style="list-style-type: none"> ・「高品質経営」について、全庁的に議論し、動く仕組み・仕掛け作りが重要 	<ul style="list-style-type: none"> ・全庁をあげて「新規・拡大事業を実現するための事業見直し」を実施することとし、全局筆頭部長に対し説明会を行い、局長マネジメントによる自発的な事業見直しを実施しました。これらについては、プランP38「No.17 既存事務事業の聖域なき見直しによるコスト削減」に反映します。
旧プランの課題について	<ul style="list-style-type: none"> ・（「行革の取組成果が市民に届いていない」について）もっとマスコミを活用すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より一層パブリシティの活用を推進するとともに、市民が“市役所は変わった”と実感できる施策に取り組めます。
具体的な取組事例について【見える改革】	<ul style="list-style-type: none"> ・「外部調査の導入等による区役所窓口サービスの向上」については、恣意的な意見に注意する必要がある。／施策ありき、導入ありきにならないように留意する必要がある。 ・「ネーミングライツの拡大」は、財政的な取組としての実施なのか、「見える改革」として何を指すのか。 	<p>P34「No.15 区役所窓口総合サービスの向上」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10 区長等で構成する「（仮称）区役所窓口総合サービス向上実施本部」の下で、窓口サービスの向上・市民満足度の向上を目指します。 <p>P49～51「No.26 ネーミングライツの推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、財源創出の側面が強いため、「生む改革」に整理しました。
【生む改革】	<ul style="list-style-type: none"> ・「ペーパーレス会議」にはメリット・デメリットがある。目的化しないように注意する必要がある。 	<p>P60「No.35 タブレット型端末によるペーパーレス会議及び市民等への効果的な施策アピールの実施」（関連P58、59）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、導入する会議を精査するとともに、No.34の事業において、文書事務全般のペーパーレス化を推進し、省資源化・コスト削減を目指します。
【人の改革】	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のモチベーションアップを図る方策としては、表彰システムなどもある。 ・「人の改革」には、「女性管理職の登用」が入るべき。 ・「時間外勤務の縮減」は、すぐ取り組まなければならない最も基本の問題／時間あたりの生産性に基づく評価が重要／外部に分析してもらうことも重要 	<p>P68「No.40 職員表彰制度の見直し」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業として取り組みます。 <p>P72「No.44 管理職への女性登用」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新プランにも位置付け、引き続き推進します。 <p>P74「No.46 総人件費の抑制及び職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した人事管理の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記事業に基づき時間外勤務の縮減に取り組みながら、ご指摘事項について検討してまいります。

